



お祝い、年次総会
出席・プログラム
委員会

「おなじ星を見ていた・ギアリンクスの架かる虹」より
修道院 内田 新哉

例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 門前 庄次郎
- 幹事 田中 正躬
- 会報委員長 黒木 正人

<会長の時間>



先日の日曜日に「高山市スポーツ少年団」の大会に出席し、協力金をお渡ししてきました。初めて出席させて頂きましたが、多くの子供達や保護者の皆さんが参加されていて、盛大な大会でした。現在は市内小学生で 1,200 名の子供達スポーツをやっているとの事でしたが、時代なのかスポーツをやらない子供も増え、年々減って行っているとの事でした。クラブに入ると毎日が練習・試合で他の時間が取れないとか遠征が多くお金も多くかかるというような問題も有る様に聞きますが、根尾君や垣越君の様になる夢を持って頑張りたいと思います。

さて話は変わりますが、少し前の中日春秋に「ポケベルを持たされ俺も鶴の仲間」と言う川柳が載っていました。新聞やテレビでご覧になった方も多いと思いますが、ポケベルが来年 9 月で 50 年の歴史に幕を下ろすと言う事です。ポケベルと言う響きが大変懐かしく感じますが、50 年も前にサービスが開始されていたことも、未だに使って見える方がみえる事も少し驚きました。ピーク時は 120 万の契約が有ったそうですが、現在は 1500 件だそうです。私も 30 年位前に使っていましたが、外出時に連絡が取れるので大変便利なものだなと思っていましたが、ベルが鳴るとすぐに連絡を取らなければいけないと公衆電話を良く探したものです。先ほどの川柳の通り首に縄を付けられているようなものだったかもしれません。

そして時代は進み、数字で通信出来るようになり文字が打てるようになり、一大ブームを作りましたが、それから携帯・パソコンへとどんどん進化して行きました。日々便利な世の中になって行きますが、その反面インターネットの蔭に潜む負の部分、また言葉を大切に、読む・書く力の衰えなどマイナスの部分をしっかりわきまえ、どう活用して行くのか、機械に振り回されず機械を有効に使うそんな事が大切に思います。

ロータリーに於いても、時代と共に変わって行く事は大切だと思います。でもその中でも基本となる「超我の奉仕」奉仕の理念を変わらず持ち続ける事が必要だと思います。

本日は出席・プログラム委員会の担当例会です。例会に関わるこの委員会ですが、例会出席はロータリーの大切な処です。親睦を深め情報交流の中で、奉仕の理念を学ぶ大切な場だと思っています。その基本をしっかり捉え乍ら、時代に合った創意と工夫を凝らしながら楽しい例会にする事が大切です。今年度は十分に出来ない処ですが、本日挾土さんにお話をさせて頂きますので勉強をさせて頂きたいと思っています。宜しくお願いします。

最後になりますが、先々週出しました「戦略計画」のアンケートの締め切りが来週の例会まででございます。23 日の意見交換の資料とさせて頂きたいと思っていますので、皆さんに提出して頂きす事を再度お願いして、会長の時間とします。

<幹事報告>

<例会変更>

- 高山 … 1 月 3 日(木)は、定款により、休会
1 月 10 日(木)は、新年例会のため
9 日(水) 17:30~ 洲さきに変更
- 1 月 31 日(木)は、定款により、休会
- 高山中央 … 1 月 7 日(月)は、定款により 休会
1 月 14 日(月)は、新年家族例会のため
12 日(土)18:00~ ひだろブマガに変更

<受贈誌>

一財団法人比国育英会バギオ基金 (2017 年度事業報告書)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	休会	のため	補正	ありま	せん
本日	36 名	—	36 名	40 名	90.00%

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日 (休会中) 向井 公規 12.21



写真 大前 克秀、榎坂 純一、高桑 光範、新井 典仁
左より 12.17、12.17、12.10、12.1

◎夫人誕生日

- 挾土 貞吉 輝子 さん 12.12
- 長瀬 達三 佳奈子 さん 12.3
- 井上 正 麻里亜 さん 12.24
- 田邊 淳 智子 さん 12.4

◎結婚記念日

- 鴻野 幸泰 S61.12.1
- 大村 貴之 H12.12.25
- 遠藤 隆浩 H23.12.30

例会報告

- ◎出席表彰 ナシ
- ◎在籍周年記念表彰



田近 毅 35年



米澤 久二 20年

◎3ヶ月表彰

- ・大村 貴之
- ・萱垣 敬慈
- ・堺 和信
- ・塚本 直人
- ・松川 英明

年次総会

2019～2020年度 役員・理事候補者についてご承認ありがとうございます。皆様のご協力を心からお願いいたします。



会長エレクト
遠藤 隆弘

役員・理事候補者	
役員	会長 エレクト 遠藤 隆弘
副会長	小島 文二
幹事	伊藤 隆
副幹事	門前 会 長
理事	下 屋 隆 吉
副理事	山 大 村 貴 之
クラブ長	米 澤 久 二
副クラブ長	田 邊 淳
青年部長	正 泰 典
青年副部長	松 次 郎
国際部長	直 貴 之
国際副部長	貴 文 二
社会部長	山 大 村 貴 之
社会副部長	山 大 村 貴 之
青少年部長	山 大 村 貴 之
青少年副部長	山 大 村 貴 之

出席・プログラム委員会

出席・プログラム委員長 田邊 淳

今期の出席プログラム委員会では、出席率向上のための環境・意識づくりに資するべく、ベテラン会員同行メイク日を設定しております。過日高山クラブへメイクへ伺い、来週10日の中央クラブへのメイクへは現在総計8名の参加予定となっております。10月以降の補正出席率が90%以上で推移しており、会員皆様のご協力のお蔭と感謝申し上げます。

さて本日の担当例会では、委員会のもう一つの基本方針「会員のためになるプログラムの開催」をいかに為すべきか、委員でもありRI会長賞を受賞されたパスト会長でもあられる挟土さんに、会員皆が参加したくなる、楽しい例会運営についてお伺いしたく卓話をお願いいたしました。どうぞよろしくお願いたします。

挟土 貞吉

今日は田邊 淳、出席委員長の指名(命令)で出てまいりました。

私はこの西クラブに34年皆勤し、ただボーっと昼飯を食べに通い生きていくだけの男です。田邊委員長よりレジェンドとして思いを語れとのことですが、何をどう話せば良いの



か「脳みそ」がいかれており正直眠れませんでした。

今年も後わずかも一年を振り返りますと今年の流行語の順位が示すようにカーリング美女達の「そだねー」に始まり、「スーパーボランティア」のあの爺ちゃんに頭が下がり、NHK チコちゃんの「ボーっと生きてんじゃねーよ！」の言葉で己の無知さを恥じ、またこの年末、お寺の平和の鐘が(ゴン)となるのでは無く、独房内での「ゴーンの金」で暮れようとしています。今日のニュースに出ました県内の豚コレラも、これまた大変な事です。

加えて世界はこの一年、地球温暖化、異常気象による災害もさる事ながら「政治、経済、社会」もトランプに振り回され混沌とした大変な年でした。そんな中、何か「明るい話題」はないかと考えてみました。それは誰もが認める日本人若手アスリートの活躍ではないでしょうか。二刀流メジャーリーグで新人王の大谷翔平の快挙、テニスの大坂なおみ、スケートの羽生結弦の根性、精神力は素晴らしいです。大相撲問題がある中、小結で優勝した貴景勝、プロ野球中日に入団した地元の根尾昂達の活躍はすごかったです。また将棋学生で新人王の藤井聡太。彼らの表彰インタビューを聞いていますと、その「受け答えや人間性が」立派で頭が下がります。素晴らしい若者ばかりで末頼もしい限りです。

反面この世、今の娑婆は、嘘ごまかし隠し事がまかり通り「利己主義で企業倫理」も無く「義理人情」も薄らぎ、どの犯罪も巨悪で胸が痛くなるような事件ばかりが続き、また日本のリーダーも付度、身の保身ばかりで「善悪のけじめ」が無く「心の籠」が緩んだ人間となり、この国はどうなるのか私は心配でなりません。この際チコちゃんに「喝」を入れてもらい、世直しの為黄門様にお出まし願いたいものです。とは申しても、先に述べたように若い彼らのような素晴らしい活躍「人間性」を見ていますと、私の取り越し苦労であり、末頼もしく夢があり元気が出てきます。我が西クラブの若手も、これまた彼らの負けない素晴らしい人達ばかりであり、今年門前会長は、「ロータリーに創意と工夫を、そしてロータリーを楽しもう」をテーマとし「RI会長賞」に挑戦という目標の向って頑張ってみえます。これまた頼もしく夢があります。先般の内田AGを頭とするIMの成功等、大いにロータリーを楽しみ和ができました。

今日は私に「ロータリーで楽しんだことを何か話せとのことで出てまいりました。そこで思いついたのが2004年大阪国際大会のビデオテープを当時会員であった葛谷さんから頂いており、それを流せば持ち時間終わりと簡単に思い引き受けさっそくDVDにして改めて観ましたら、78,000人参加の感動を与える式典記録でなく、なんと京都、祇園でお酒を飲んでいるところばかりであり辞めようと思ひ悩みました。しかしロータリーを楽しむ事がテーマの卓和であり、またせつかく垣内さんに手間をかけて10分に編集し直したテープですので見てください。



ロータリーとは「天職を高め、社会に奉仕」する団体と書いてあります。

例会報告

会社は社員の生活を守り顧客の信頼を得て発展させ、税金を払えば「社会奉仕」に繋がると考え汗して働いてきました。後は楽しく例会に出席し「学び遊べば良い」との思いで出てきています。私にとってロータリーとはいろいろ体験する中で「恥をかき、己を磨く」場であり正に「人生道場」です。

私は会長の時、こんな苦しい体験をしました。それは荒川之雄さんが急逝されたその時の「弔辞」の事です。山本さん、垂井さんに原稿つくり御願いましたら、にべも無く断られ泣く泣く書いて震えながら別院本堂で読み恥をかきました。4つのテストにある「好意と友情を深める」西クラブでなく、虐める冷たいクラブでありあの時退会、やめようと思えました。しかし「獅子の子育て」と同じくこの私を育てる為、わざと谷底に突き落とし苦しい経験をさせたことが今になってわかり「試練の場」貞吉を育てる為の「愛の鞭」であったと受け止め今は感謝の気持ちで一杯です。あの急逝された日は「伊達ガバナ―」出席で三クラブ合同例会の真っ最中の出来事でありました。その弔辞、原稿を伊達ガバナ―にも届け呼んで頂き、心が通じる良き文書とお褒めて頂いた事、また荒川奥様からのお礼の一言で救われました。今思えばあの苦しみは楽しい思い出の一つです。

ロータリーを振り34年皆勤の中で、病気になる前は例会には必ず出席し「地区大会、IM」にも休まず参加し世界大会も3回行きました。最初が韓国、2回目はカナダバンクーバー、伊藤松寿さん会長、私の幹事の時でした。3回目が2004年挾土会長、内田幹事の時に運よく日本大阪ドームであり、参加登録78,000人の会場に夫婦同伴30人くらいで参加し、京都御所見学、清水寺等を廻り祇園に泊まり舞妓さんを入れ、芸子遊びをし、ロータリーをとことん楽しみました。ロータリーとは参加することに意義があり、「学び」楽しむ場だと思います。皆さん積極的に参加し大いに楽しみましょう。

最後に例会欠席の場合は電話一本事務局へ必ずして理由を伝えメイクアップし「出席率」を高めて下さい。つたない話、ご清聴ありがとうございました。平成30年最後のスピーチを終わります。

<ニコニコボックス>

●門前 庄次郎さん、田中 正躬さん

本日は年に一度の年次総会です。審議の程宜しくお願いします。また出席・プログラム委員会の担当例会でございます。田邊委員長よろしく申し上げます。挾土さんに卓話をして頂けるとの事で楽しみにしております。

●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

本日の年次総会、次期理事役員候補者の審議の程よろしく申し上げます。

●挾土 貞吉さん

今や日本のトップ経営者、我がクラブのシンボル岡田賛三さんの全国法人会会報「私の経営哲学」改めて読ませていただきました。苦あれば楽あり、今日、田邊出席委員長命令でロータリーを楽しむ話をせよと言わせて困っています。

●大村 貴之さん

ロータリーの友にソフトミニバレー第70回記念大会の記事が出てます。是非読んで下さい。

●垣内 秀文さん

先日、日曜日に友達夫婦と4人で富山までクイーン映画「ボヘミアン・ラプソディ」を観に行きました。感動しました。皆様ぜひ観に行ってください。知ってる人も知らない人も間わずクライマックスシーンでは涙腺がズルズルに緩む事となるでしょう…。その後年末ジャンボの売り場があり、ついつい買ってしまいました。正月まで妄想してみます。ちなみに先に一昨日車に当たりました。タカバンさん入院中です。

●大前 克秀さん

古民家再生協会の月刊誌ジャパトラを机の上に置かせていただきました。読んでいただければ幸いです。

●伊藤 松寿さん、岡田 賛三さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、

田中 武さん、瀧野 幸泰さん、下屋 勝比古さん、井上 正さん、新井 典仁さん、山下 直哉さん、田邊 淳さん、挾土 貞吉さんの卓話、楽しみにしています！

お薦めの本

黒木 正人

「文苑ひだ」 飛騨作家協会

飛騨の同人誌「文苑ひだ」は、1960年に創刊され、現在の「文苑ひだ」に改定されてからは第15号、通算98号まで発行されている。新しい元号の年に通算100号（文苑ひだ第17号）を迎える予定である。

私は詩を書くのが趣味で、40歳手前頃から岐阜で文芸祭を中心に活動をしてきた。飛騨に帰って来てもう7年、岐阜県文芸祭優秀賞、岐阜市文芸祭賞などを受賞していたことから、こちらに帰って来てすぐに誘われて同人となった。最近では詩を書くのに夢中になることもなくなったが、文苑ひだには必ず投稿するようにしている。

これだけの分量のある同人誌が長年続くには、多くの飛騨の企業がサポーターとなって支えられているからだ。飛騨の文化に対する思いは、素晴らしいものだと思います。印刷所は、もちろん山都印刷様であり、その装丁、編集も飛騨の文藝春秋と言われるくらいである。

俳句、短歌、詩、随筆、小説、評伝、散文など、なんでもありの「文苑ひだ」、いつでも誰でも大歓迎なので、皆さんも一度投稿されたらいかがだろうか。思いが活字になるのは、楽しいものである。

